

ひるば

▲発行責任者
標津高等学校教育振興会
会長 梅 木 雅 則
▲発行日
令和4年10月1日発行



「生徒一人一人を大切にできる学校」を目指します

北海道標津高等学校長 渡 辺 幹 夫

今年度の学校案内のパンフレットにも同じ表題を載せましたが、「生徒一人一人を大切にできる学校」を目指しています。本校は、今年度から地域連携特例校となり、1学年1問口となりました。この先、少子化が続き、入学者が減少することが予想されます。全校生徒が100名に満たない小規模校となると、どうしても悲観的になってしまいがちなのですが、逆に、先生の目が行き届いた少人数指導ができ、生徒一人一人を大切にできる利点があります。大規模校では、1クラス40人いるため、先生の目が行き届かないということをよく耳にします。ですから、今後、生徒一人一人を大切に、小規模校ならではの特色ある教育活動を進めて参りたいと考えます。

さて、まもなく前期が終わろうとしています。依然として、新型コロナウイルスが変異をしながら全世界に猛威を振るっています。その中で、本校の生徒は、感染対策をしっかりと行い、自分自身はもちろんのこと、他の人にうつしてはいけないという気遣いができています。これは、本校の生徒だけでなく標津町全体の意識がそうさせているのだと思います。そのような中で、前期を振り返ってみると、4月の入学式から始まり、7月には、学校祭がありました。コロナ禍の中、生徒の活躍する姿を保護者や地元の小中学生に見てもらおうと思い、屋外での実施及び人数を限定した上で一般公開を行う予定でしたが、残念ながら、当日雨となり、一般公開も花火も中止となりました。しかし、生徒達は、自作した衣装を身にまとい、クラス一体となってパフォーマンスを楽しんでいるようで少し安心しました。いろいろと工夫をすることでコロナ禍ならではの学校行事が可能であることを再認識いたしました。また、部活動では、陸上部3年生の木村君が、男子ハンマー投げでインターハイ出場を見事に果たしてくれました。陸上部は、これで3年連続でのインターハイ出場となりました。このような結果を残すことができたのは、本人の努力はもちろんのこと、部活動指導においても少人数指導（マンツーマン指導）ができていたからと考えます。これからも、この利点を活かした教育活動を進めて参りたいと思いますので、今後とも、地域の皆様方の変わらぬご理解とご協力をお願いいたします。



防災視察研修で学んだこと

～7月30日-8月2日 岩手県・宮城県・福島県～

今回私は、防災視察研修に行くのは2回目でしたが、新たに感じたことや、衝撃を受けるものがたくさんありました。特に印象に残っているのは、釜石市宝来館で実際に津波が押し寄せている映像を見たことです。映像の中には、人々の叫ぶ声や津波に飲み込まれそうな姿が映っていてとても心が痛むものでした。映像を見せてくれた人の話によると、このまま山に逃げるか、建物に避難するかという選択に迫られたこともあったそうです。もし、自分がその場にいたら冷静に判断できるのだろうかと思うと、とても厳しい状況だったとより感じました。



大川震災伝承館（石巻市）



旧大川小学校震災遺構（石巻市）



東日本大震災津波伝承館（陸前高田市）

他にも避難経路を歩いたり、津波を受けた小学校を見学したりなどたくさんの場所を体験しました。

今回この研修で学んだことをたくさんの人達に伝え、この災害について考えられるきっかけに少しでもなれば良いと思います。

2年A組 池田 雪羽



皆さん、学校祭は準備からお疲れ様でした。一人一人悔いなく楽しむことが出来ていたら幸いです。今年度の学校祭も昨年度と同様、一日日程となってしまいました。3年生は、3年間通常日程での学校祭が出来ず、悔しかった面もあったかと思います。しかし、そんな日程や内容が制限された中でも、全員が協力し、素晴らしい学校祭になったのではないかと思います。私自身も、先輩方のいない中で大きな行事に不安が多くありましたが、新たに入り協力してくれた1、2年生を含む生徒会メンバーや先生方、生徒の皆さんや町の方々がとても支えとなっていました。ありがとうございます。

学校祭が終わり、第70期生徒会としての大きな行事はありません。これまで大変なことも多い反面、やりがいを感じる場面も多く楽しく活動することが出来ました。第71期生徒会も応援しています。

第70期 生徒会長 渡部 佑菜



第69回

標高祭

7月17日
開催



陸上競技部



陸上部に入部してから3年間、毎日練習を頑張ってきました。陸上競技は個人競技ですが、部員は同じ部活に所属しているチームとして、一人一人が自己ベスト更新を目標に皆で支え合って練習してきました。

部員3人マネージャー1人という少ない人数でも、部長として部の雰囲気を良くしてモチベーションを高めることができましたと思います。一緒に練習してくれた仲間や、応援してくれた皆さんのおかげで、最後までやり遂げることができました。応援ありがとうございました。

陸上競技部 部長 関川 真斗

「インターハイ出場」



陸上部で色々な種目をやった中で、ハンマー投げでインターハイに出場しました。3年間練習して自己ベスト記録をのびし、全国大会まで出場できたことはとても良い経験になったと思います。これまで皆さんの応援があってインターハイに出場することができました。ありがとうございました。

陸上競技部 木村 康補

【釧根支部予選】

▶木村 康補	ハンマー投	1位
▶下 恵太	やり投	3位
▶関川 真斗	100m	8位
▶関川 真斗	200m	17位

【北海道予選会】

▶木村 康補	ハンマー投	5位
▶下 恵太	やり投	20位

【全国大会】

▶木村 康補	ハンマー投	予選
--------	-------	----

バドミントン部

【男子シングルス】

▶1回戦	寺上 勇気	対 標 茶	2-0
▶2回戦	小田部 星牙	対 釧路東	0-2
	近藤 洸希	対 標 茶	0-2
	阿部 友飛	対 別 海	0-2
	寺上 勇気	対 武修館	0-2

【女子シングルス】

▶1回戦	平井 佑奈	対 釧路工業	2-0
▶2回戦	平井 佑奈	対 釧路明輝	0-2

【男子ダブルス】

▶1回戦	小田部・近藤	対 釧路湖陵	0-2
	阿部友・寺上	対 釧路北陽	0-2
	濱崎・福士	対 釧路北陽	0-2
	阿部泰・橋詰	対 武修館	0-2

【男子団体戦】

▶1回戦	対 弟子屈	3-2
▶2回戦	対 釧路明輝	0-3

バドミントン部を3年間続けて、途中から部長を務め、たくさんの人達に支えてもらったのにも関わらず、高体連では結果を出すことができず、応援してくれた全員に申し訳ない気持ちでいっぱいです。しかし、3年間の努力は無駄ではなかったと思います。私は部活動を通して、目標に向かって練習する姿勢が大事だということを学びました。全く部長らしくできず、皆に迷惑を掛けましたが、今の1、2年生には私たち以上に努力をして、結果を積み重ねて欲しいと思います。



バドミントン部 部長 近藤 洸希

卓球部

【男子ダブルス】

▶2回戦	齊藤・澤田	対 別 海	3-1
▶3回戦	齊藤・澤田	対 釧路明輝	0-3

【男子シングルス】

▶1回戦	澤田 光希	対 釧路工業	1-3
▶2回戦	齊藤慎太郎	対 釧路工業	1-3
▶2回戦	加藤 悠人	対 釧路江南	0-3

今年はマネージャーを含めた部員4名で高体連に臨みましたが、残念ながら良い結果を残すことはできず、代わりに悔しさだけが残ってしまいました。しかし、少人数ながらも日々の練習では、できる限りの工夫を凝らし試行錯誤を重ねてきました。その練習の成果は発揮できていたように思えます。高体連を経てそれぞれ思うところがあると思いますが、後輩たちには今回の悔しさをバネに頑張ってもらいたいです。キャプテンとして、みんなをまとめたり引っ張ったりすることの難しさを実感し、それに伴う責任の重さも感じることができました。この経験を今後さまざまな場面で活かしていきたいです。



卓球部 部長 澤田 光希

男子バスケットボール部

僕たちバスケットボール部は、高体連に向けて頑張ってきました。新チームになってから、他のどのチームよりも経験が浅いことから、基礎の基礎から皆で頑張ってきました。それぞれが新チームになってから意識してきたことや、重点的に練習してきたことを、最後の高体連で皆が力を出せたと思うので、結果は負けでしたが、自分達の力が出した良い高体連になりました。

▶1回戦 標津 35-136 釧路工業

男子バスケットボール部
部長 加藤 大輝



野付巡検を終えて

～6月14日実施～



私は野付巡検から、自然の大切さや自然環境をきれいに保つことの大切さを学びました。先端付近を歩いていると、海の近くの砂浜にはたくさんのゴミが落ちていました。ペットボトルや缶、ゴム手袋などが落ちており、これらは残り続けると聞いて、改めてごみ問題の深刻さを感じました。

また、この日はきれいなアマモも観察することができました。アマモを意識して海を見たのは今回が初めてでした。そして、アマモが野付半島にとって必要不可欠な植物だということがわかりました。そのほかにも、見たことがない花や虫なども観察することができ、とても学びの多い1日になりました。

1年A組 工藤 彩奈



野付巡検は、第1学年で毎年実施しています。

普段入ることのできない半島の先端部まで歩き、観察と合わせて清掃活動を行います。

流れ着いた多くのゴミを拾った生徒たちは、自然を守る意識が高まりました。



教育振興会からのお知らせ！

令和5年度から生徒支援を一層手厚くします！

- ①地元生徒限定 ➡ 新入学時教科書等購入費助成を5万円から10万円に増額！
- ②推薦枠入学者限定 ➡ 新入学時教科書等購入費助成を15万円(全額相当)の優遇助成！
- ③新1年生東北被災地「防災視察研修」 ➡ 希望者全員、参加費を全額助成！
- ④私立大学等の入学助成※評定平均4.3以上対象 ➡ 私立大学30万円
短期大学20万円
専門学校20万円 ※ただし1年制は10万円
- ⑤各種資格取得費 ➡ これまでの半額助成から合格者は全額助成！
- ⑥個人用学習用端末(タブレット)購入費 ➡ 全額助成を継続！



10月	3～4日	学期間休業
	5日	後期始業式
11月	2日	生徒総会
	22～25日	後期中間考査
12月	26日	冬季休業前全校集会
	27日	冬季休業(1月18日まで)

1月	19日	冬季休業明け全校集会
	27～31日	3年学年末考査
2月	14～17日	1、2年学年末考査
3月	1日	卒業式
	24日	後期終業式・離任式